

(総括評価表Ⅱ)

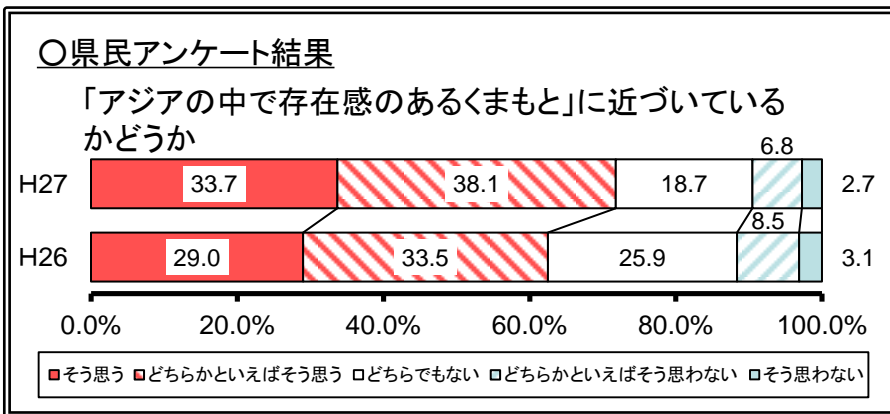
“アジアとつながる”～「アジアの中で存在感のあるくまもと」をめざします～

1 実現に向けて推進する戦略

**戦略5** アクション・アジア  
～成長するアジアの市場に打って出ます～

① アジアに打って出る

② アジアから呼び込む



2 戦略指標の動向

※ 下表の「指標の動向」・「達成状況」欄は目標値の種類に応じて次により整理。

目標値の種類	「指標の動向」	「達成状況」
戦略策定時から最終年度までの累計値で見ていく指標		☆
最終年度(単年)の実績値で見ていく指標		★

指標	戦略策定時 (年度)	H24実績値 (H25評価)	H25実績値 (H26評価)	H26実績値 (H27評価)	単位	指標の動向 (策定時との比較)	目標値 (H27年度)	種類	達成 状況
① アジア地域への輸出及び進出を行っている 県内企業・農業団体等の数(中国)	延べ57 (H23)	66	120	138	延べ数		延べ86	累計	☆
	延べ27 (H23)	33	120	152	延べ数		延べ40		
	延べ16 (H23)	21	54	64	延べ数		延べ23		
② 延べ外国人宿泊者数	33万人/年 (H22)	30	42	48	万人		60万人/年	単年	
	うちアジアからの延べ外国人宿泊者数	30万人/年 (H22)	28	40	45	万人			
留学生の数	575人/年 (H23)	655	684	735	人		1,000人以上/年	単年	

### 3 平成26年度の主な成果・今後の課題や方向性

#### 【戦略5】アクション・アジア～成長する市場に打って出ます～

平成26年度の主な成果

今後の課題や方向性

アジアのマーケット開拓では、海外展開推進本部を中心に、庁内の情報の共有化や連携強化を図るなど、施策を戦略的に推進し、アジアとのつながりの強化、県産品輸出の拡大を推進した。具体的に、輸出促進アドバイザーを活用した新規事業者の掘り起こしや、シンガポール・香港での延べ32品目の物流試験及び延べ10業者・19品目の販売実証、くまモン商品の台湾・香港での現地コンビニとのタイアップ事業の実施、インドネシアへの県産ハラール牛肉輸出の取組、中国広西壮族自治区での中国-アセアン博への出展等により、マーケットの開拓を進めた。また、ベトナム向けのヒノキ製材品のテスト輸出や、製造業関連企業の海外販路展開の支援等を通じ、タイ・台湾市場の把握が進むとともに、農林水産物に係るオール熊本での輸出促進や新たな国への販路拡大等の条件整備を進めている。

ポートセールスの展開では、八代港、熊本港のコンテナ取扱数がそれぞれ過去最高を記録したほか、八代港では、大型船舶対応の水深14m航路の整備やガントリークレーンの大型化を進めた。

海外からの誘客について、外国人宿泊者数が過去最高を記録した前年を上回る見込みとなり、国際航空路線の誘致・拡充では、知事トップセールス等の結果、熊本と台湾高雄との定期チャーター便が就航し、H27年4月以降も継続が決定するなど、台湾高雄線のほか、中国福建省を含めて199便のチャーター便が実現した。また、八代港へのクルーズ船の誘致活動により、「やつしろ全国花火競技大会」に合わせ、クルーズツアーが実施され、約2,000人の乗客が訪れた。

アジア地域を含め、「熊本」の認知度を高めていく必要がある。また、相手国の需要や商流、商習慣などを把握し、適合する品目や事業者の選定・掘り起こしを進めるとともに、専門的な相談・助言体制の構築や販路拡大に向けた商談機会創出の必要がある。さらに、H27年9月に開催が予定されているASAD(アジア認知症学会)2015大会において、認知症分野でのアジアとの交流を促進する。

ポートセールスの展開では、熊本・八代両港の既利用企業の維持と同時に、利用荷主の掘り起こしを強化し、貨物量の確保を図ることで、増便や新規航路の誘致につなげる。加えて、八代港の水深14m航路やガントリークレーンなど、港湾機能の着実な整備と維持管理を進める。

海外誘客に向けて、多様なニーズを踏まえた旅行商品の造成や販売促進が必要であり、九州各県とも連携した現地プロモーション等の誘致促進を図るとともに、街ぐるみでのおもてなし向上や、スマートフォンサイトの充実など、外国人観光客の受入環境の整備を進める。さらに、国際航空路線の誘致では、台湾高雄線の定期便化に向け、航空会社等との協議を継続する。また、クルーズ船では、関係者と連携して、広く県内に波及する取組につなげていく。

〔くまモン商品の台湾・香港でのコンビニとのタイアップ〕



〔熊本と台湾高雄との定期チャーター便〕